



週報

■6月は、『ロータリー親睦活動月間』

第1526回例会

2018年6月14日 Vol.32/No.44

■本日の例会 / 第1527回 平成30年6月21日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告・各委員長
- 年間総括プログラム・各委員会より

【出席率状況報告】

- ・会員数 …………… 52名
- ・出席者 …………… 29名
- ・欠席者 …………… 23名
- ・出席率 …………… 55.77%
- ・5/31の修正出席率… 73.08%

■会長挨拶



田中 寿 会長

早いもので、ほぼ任期が終わりに近づいてきました。私どものオフィスではマイクを持って喋る仕事をするスタッフを多く抱えているものですから、言葉の話をしてみようと思います、最近、日本語が早いスピードで変わっていると言われていす、NHKに言葉のおじさんと言う方がいらっしゃいますが、その方の話の中で例えば雰囲気と言う言葉を、フインキと発言する人が多くなっているという事を話しておられました、確かに間違っているのですが、40数%もいるという事で、フインキと言う表現も認められることになりました、従来も手術と言う言葉をシジツと読んでもいいという事になっていましたが、また一つそういうものが増えたという事です、こんな風に言葉は変化しているという訳です。

ところで来年度のRIの標語が Be a inspirationという事になっていますが、これは日本語にしにくいコトバの一つだと思います、想像しろ、インスピレーションになれとしか我々の貧しい英語力では訳する事が出来ないので、このように英語から直訳された分かりにくい文章が氾濫しているような気がします。今年のメイキング ディファレンスと言う標語がありますが、これも日本人の英語ではなかなか表現できない言葉だろうと考えます。単純に言えば「変わりましたよ」と言う訳でもいいのかもしれませんが、ロータリーも100年を過ぎて変わっていかなくてはならない点もあるだろうと言う風に感じました、先日、新旧会長幹事会の中で雑談の中で話したのですが、私はロータリーに入って10年程になりますが、今まではRCの会員は「功を遂げ、名を成した者達」の集まりだと聞かされてき

ましたが、今考えてみると、この宮崎の人口に比して、現在500名ほどのロータリアンが居ます。まだこれ以上に「功を遂げ、名を成した」人が居るのだろうかなんて思ったりすることがあります。だとすれば、若くして起業し頑張っている人たちに会員になってもらい、ロータリアンが先輩として育てる事も一つの奉仕ではないのでしょうか、こんなことを以前私の話の中でご提案したことがありましたが、少しずつロータリーも変わっていいのではないのでしょうか？ 世阿弥の言葉に「秘するが華」と言う言葉があります、これは一説には大事な知識は隠しておきなさいと言う訳をしてある本もありますが、実際には、どんどん後輩や弟子に公開しなさい、そして自身はそれ以上のものを学びなさいと言う名言だと聞いて事があります。人生の中で学ぶという事はそういうものでありその連鎖で人は向上するという風に解釈することが大事だと聞かされました。

■幹事報告

生駒俊明 幹事



先日鹿児島で行われた地区研修・協議会のお礼が来ています。平成30年度宮崎市国際交流会の総会資料が来ています。(5月29日開催)

■ゴルフ同好会

岡田圭史 会員



6月13日に第2回田中杯争だつゴルフコンペが開催されました。最高の天気の中、みなさん最高のスコアで回っていたみたいです。山川さんの優勝で幕をとじました。

田中会長！ありがとうございました。



■広報・雑誌・IT委員会 岡田圭史 会員

IT、情報、広報委員長を一年間務めました岡田です。いろんな勉強会に参加したり、いろんな方のお話を聞いて何とか頑張れました。各メディアの方にも御協力を頂きありがとうございました。

■クラブ会報委員会 井上 真由美 委員長



今迄いろいろな委員会に属しましたが、いちばん楽しさせていただいた一年でした。

クラブ会報委員会の皆様、事務局の奥野さんのおかげだと感謝しています。会員の皆様一年間のご協力、ありがとうございました。

■会員選考委員会 木村聡之 委員長



今年度いずれも人品骨柄問題のない方であったため、委員会を開催するまでもなく了承され承認された。

■職業分類・増強委員会

江島 寛 委員長



年度当初の会員数51名が一時は54名まで増加したものの、現時点における会員数は52名となっていますが、来週1名の入会が予定されているので純増2名となります。

純増は達成したものの飛躍的な増加の困難さを痛感いたしております。

次年度の長岡委員長の手腕に期待します。

■ロータリー財団委員会

田島直也 委員長



寄付：

1. ポールハリスフェロー 440,000- (秦会員)
2. 個人寄付 (封筒) 180,000-
3. クラブから財団 前期 304,976-
後期 103,680-
合計 1,028,656-
4. ベネファクター なし

5. 補助金申請等

ネパールからの高額の援助申し込みがあったが、クラブとして対応できなかった

■米山記念奨学委員会

黒木雄一 委員長



この事業は、単に留学生の学資支援のためではなく、国際理解、親善、平和に貢献できるような人材育成を目的とした意義ある事業ですが、幸い一昨年から

留学生の世話クラブとして事業の意味を直に体験出来る機会に恵まれました。

今年度は地区の達富部門長の方針に従い、月掛による積立方式で会員の皆様をお願いをしたわけですが、219,000のご協力をいただきました。

ただ、私の力不足で特別功労者を輩出することができませんでした。その結果、年間地区目標額に達することが叶いませんでした。

■トライアスロン委員会

坂本弘史 委員長



2017年の大会は、エントリー総数は1,026名となり、キャンセル待ちが90名余り出る盛況ぶりでした。

国内でも人気の大会にランクされる大会に成長しました。

今年は20回の記念大会でもありますので、より多くの会員の皆様の協力を呼び掛けたい。

■国際奉仕委員会

篠原英介 委員長



今年度も7月から8月にかけて恒例の交換留学生事業を実施しました。台湾からは男子大学生2名を受け入れ、宮崎からは女子大生2名を送り出しました。

受け入れの際は、インターンシップ活動を中心として、主に会員の企業で様々な業種を体験してもらいました。次年度以降も学生が中心となります。

また、先週ご報告した通り、5月16日から19日までの4日間、会員を中心に20名で台湾に渡航しました。

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明